

# 水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第21号

2024年1月16日



## 学校と地域が一体となった金融教育

より豊かな生活を送るための「生きる力」を育む金融教育の在り方  
—生徒が主体的に取り組む教科等横断的な学習を通して—



令和5年12月19日（火）に緑桜学園那珂市立第三中学校にて金融教育研究発表会を実施しました。これは、茨城県金融広報委員会の委嘱を受け、2年間の研究のまとめとして行ったものです。

桐原徹也教諭は、「教科等横断的な学習による金融教育の推進やキャリア教育と関連させた研究推進を通して、生徒が学校や地域のよさについて考えるようになった。」と成果を話しました。



研究のまとめを発表

学校や地域のよさを再発見！

発表会の内容を紹介します。

授業公開では、7～9年生を縦割りでグルーピングし、1「地域との連携」、2「販売促進」、3「三中ブランド化」という3つの議題の下、2年間の成果を振り返り、今後那珂市立第三中学校のもつよさをアピールするため、どのように地域と連携していくかを話し合いました。「三中ブランド化」について話し合ったグループでは、商品に付加価値を付けるためにはどのようにすればよいかを考え、付加価値を付けることで地域の発展にもつながることに気づき、地域のよさについても再発見することができました。

また、生徒たちは、学区内の木内酒造株式会社木内敏之社長による講演会において、「酒造業の未来と展望～伝統産業の継承と地域社会への想い～」について話を聞き、地域を大切にするとともに、世界に目を向けたグローバルな視点からの取組に感動していました。



### 主な活動

- 【7年生】金融マネーゲーム、お茶摘み集会、収穫したお茶の価格設定・販売
- 【8年生】梅の実落とし、企業調べ（木内酒造）、職場体験学習、パンジーの栽培、価格設定・販売
- 【9年生】ライフプランの設定、ライフプランナーの講話、サツマイモのつるでクリスマスリース製作・価格設定・販売（地域の企業である「クロサワ本舗」からサツマイモのつるをもらいクリスマスリースを作製しました。205個のリースは、地域イベント「ガヤガヤ☆カミスガ」に出店して、全て完売しました。自分たちでチラシを作成したり、呼び込みをしたりと積極的な活動につながりました。）



👉 これまでの取組について発表



👉 縦割りのグループで取組を協議



👉 講演を聞く生徒たち

### 生徒の感想

- お金を得るのにも、使うのにも、しっかり考えてから行動するべきだと再認識できた。
- ライフプランを作成して、将来自分の力で暮らしていくときに、どれくらいのお金を使うのか気になった。
- ガヤガヤ☆カミスガに出店して、クリスマスリースを販売しながら、地域の人と関わることができた。